

# 成人学習者における日本手話の WH 疑問文の表出とその指導

○中野聡子<sup>1)</sup> 下島恭子<sup>2)</sup> 川端伸哉<sup>2)</sup> 能美由希子<sup>1)</sup> 二神麗子<sup>1)</sup> 金澤貴之<sup>1)</sup>

1) 群馬大学共同教育学部 2) 群馬大学学生支援センター

KEY WORDS: 日本手話 第二言語習得 言語転移

## 1. 問題の所在と目的

成人の音声言語母語話者にとって、第二言語(L2)としての手話言語習得は容易でない。第一言語(L1)の習得に比べて、L2の習得には、内的要因と外的要因が複雑に作用しあう。さらに、手話言語はバイモーダルな M2L2 であり、手話の音韻・形態・統語的側面を学習するうえで、M1L1 や M1L2 の言語経験を活かすことが困難である。

本研究では、L1 を日本語とする聴者成人の日本手話学習者における WH 疑問文の表出エラーをタイプに分けて整理し、指導について検討する。

## 2. 日本手話の WH 疑問文

日本手話は、WH 要素が節末に現れる WH-final 言語である (Uchibori & Matsuoka, 2013)。そして、日本手話の WH 疑問文には、「眉を上げるか下げるかして、あごを前方（もしくは斜め前方）に突き出し（「前への移動」）、首を横に小さきみにふる」につきだすようにし、あごを左右に小さきみにふったりする」非手指動作 (NM 表現) (木村・市田, 2014) が共起する。また、日本手話の疑問詞には、/なに/、/どこ/、/いつ/、/だれ/、/いくつ/、/なぜ/、/どっち/などがある。なお、本稿では日本手話の文を簡略に表記するため NM 表現の記述を省略する。

## 3. 分析対象データ

A 大学で日本手話習得・手話通訳養成カリキュラムとして実施した 2020 年度の授業記録動画を分析対象データとした。授業はすべて Zoom ミーティングルームを利用したオンライン形式で行われ、受講者の手話表出も含め、授業の最初から終わりまでホストによって録画されている。2020 年度に同カリキュラムの授業を受講した学生は、1 年生:59 名、2 年生:13 名、3 年生:17 名（留学生 1 名を除外）であった。受講生はいずれも聴者の日本人であり、A 大学に入学後、日本手話の学習を開始している。受講生には、google アンケートフォームを利用して研究の概要及び目的と、倫理的配慮及び個人情報の取り扱いに十分な留意をする旨の説明を行い、研究協力への同意回答を以て了承を得た。

## 4. WH 疑問文における表出エラーのタイプ

### 4.1 WH 要素と NM 表現の非共起

日本手話の WH 疑問文では、手指表現による WH 要素と NM 表現が共起しなければならないが、学習者の手話表出では、/朝 起きる 時間 いくつ/（朝は何時に起きますか）のように、語順は適切なものの、/いくつ/に、特定の NM 表現が欠落していることがあった。

### 4.2 WH 疑問詞の誤用

日本手話の WH 疑問文では、尋ねたい内容に応じて疑問詞を選択する必要があるものの、学習者が表出した日本手話文では疑問詞の不適切な使用がみられた。疑問詞の選択エラーは、/うまれ なに/ のように、/どこ/、/いつ/、/だれ/、/いくつ/、/なぜ/、/どっち/の疑問詞が、/なに/に置換されやすかった。

### 4.3 WH 句の誤用

日本手話には、/方法 なに/（どのように）、/理由 なに/（なぜ）のように、WH 句として使用するタイプがある。学習者の表現では、例えば「どうやって通学していますか」と問うときに/PT2 大学 通う(CL) なに/というように、/方法 なに/

と表すべきところを、/なに/のみで使うことがあった。

## 4.4 日本語の WH 疑問文からの転移

### 4.4.1 語順の転移

日本語も日本手話も、平叙文の基本語順は「主語＋目的語＋動詞」(SOV) であるが、WH 疑問文では、日本語は WH 要素が文中に留まるのに対して、日本手話は文末に WH 要素が移動する。WH 要素を文中におくことも容認されるが、その場合は、疑問詞のみならず文全体に WH 疑問を表す NM 表現を共起させなければならない (松岡, 2015)。

学習者の手話表出では、日本語の語順をそのまま手話に適用させようと、WH 要素の部分のみに NM 表現をつけるか、もしくは NM 表現が全くついていないことが多かった。

### 4.4.2 連体詞「どう」「どんな」の転移

日本語では、「どう」「どんな」の疑問詞が、話題や事柄に対する印象や様子を問う、人にもものを勧めたり意向を問う、問いを略して問う (久池井, 1995) といった意味機能を持って使用されるが、日本手話にはこれに相当する疑問詞が存在しないと考えられる。にもかかわらず、学習者の表現では、日本語の「どう」「どんな」を/なに/に置換して、/おじいさん なに/（「おじいさんはどうしていますか？」の意）と表出されることがあった。日本手話では、/おじいさん 元気/（おじいさんは元気ですか）、/おじいさん 体調 なに/（おじいさんの体調はいかがですか）というように、「どう」の意味的範囲を限定する必要がある。

### 4.4.3 WH 疑問文の形式をとる反語表現の転移

日本語では WH 疑問文の形式をとる反語表現があるが、日本手話では語用論的に不適切な表現となる。にもかかわらず、学習者の間では、/明日 試験 なに/（「明日試験をするってどういふことなのか、試験をするのはおかしい」の意）といった手話表現がみられた。このような場合、日本手話では、話者の判断のみ語られ、例えば、/明日 試験 する 不満/といった表現になる。

## 5. WH 疑問文の指導における検討

日本手話学習者の WH 疑問文における表出エラーは、日本手話における WH 疑問文の文法習得の不十分さと、L1 の日本語の転移からくるものと考えられた。日本手話の疑問詞を使い分けて主体的に WH 疑問文を用いるやりとりが発生するようなタスク中心アプローチをとる中で、言語形式に目を向けさせるように Focus on Form (F on F) を取り入れていくことが必要であると考えられる。これに加えて、転移が生じやすい日本語文を提示し、手話表現を考えさせるといった分析的学习を行うのがよいと考えられる。

## 謝辞

本研究は、日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的研究 (萌芽))(19K21764)(19K21625)、(基盤研究 (B))(一般)19H01702)、(若手研究 20K14047)、厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業(20GC1014))、日本財団助成事業「聴覚障害に関わる支援人材育成を目的とした遠隔手話教育システムの構築」の助成を受けた。

(NAKANO Satoko, SHIMOJIMA Kyoko, KAWABATA Shinya, NOMI Yukiko, FUTAGAMI Reiko, KANAZAWA Takayuki)